

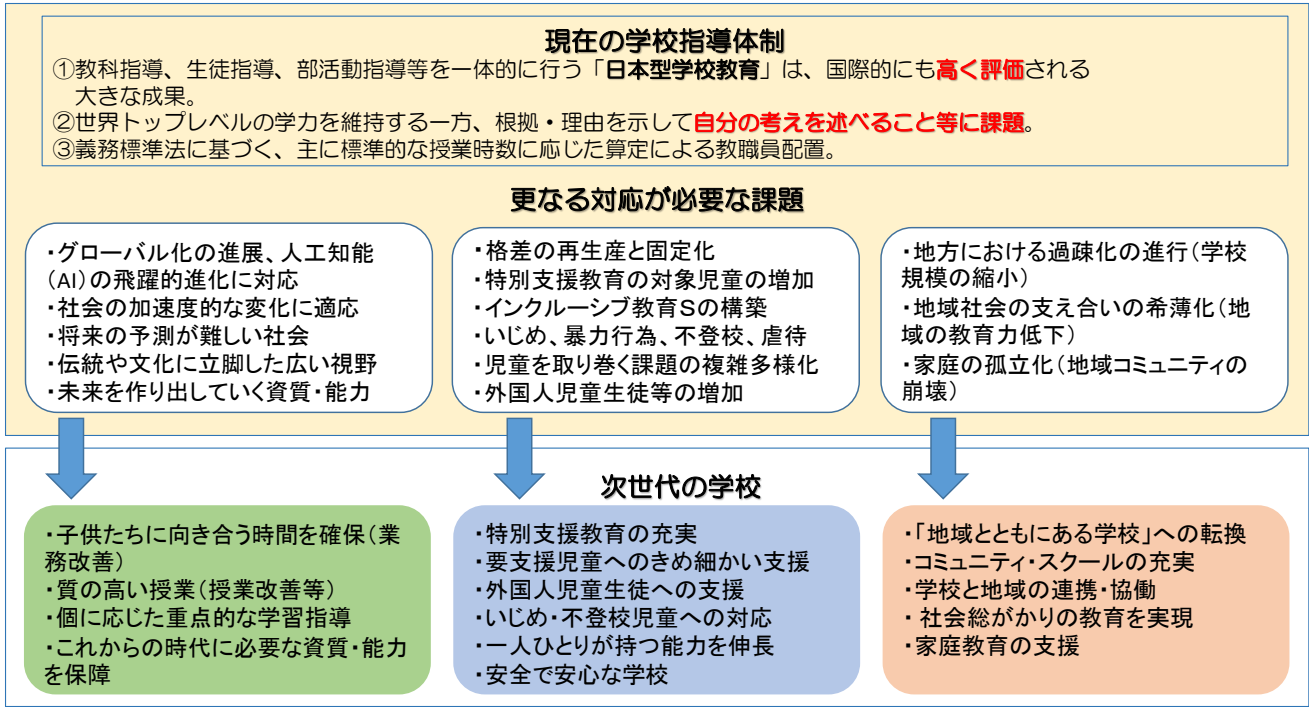
令和4年度 学校経営方針

令和4年度 丹波市立黒井小学校の学校経営方針について説明いたします。

国が日本の教育の向かうべき方向を次のようにまとめています。最上段が成果です。中段からが課題です。大きく緑と青、赤の3つのカテゴリーに分けられます。

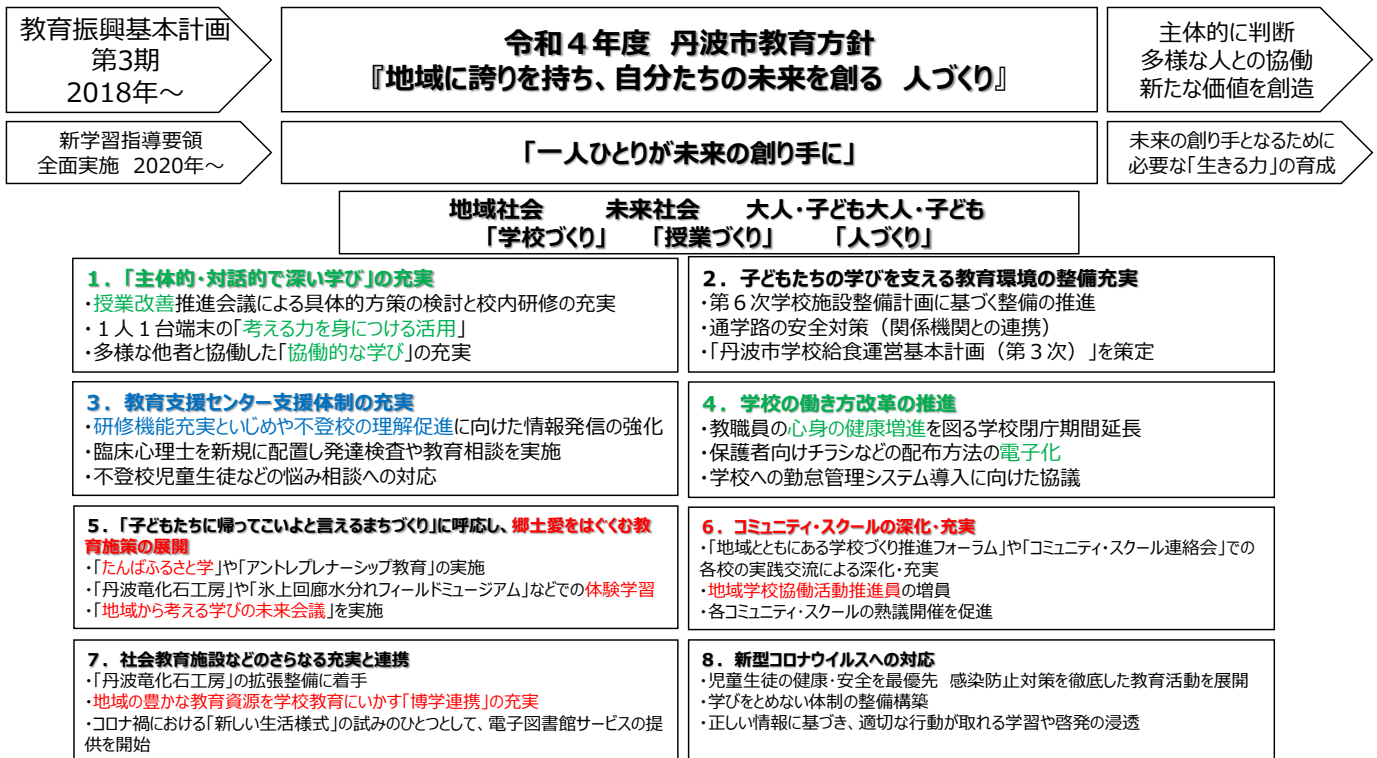
これから学校の向かうべき方向

参考：文部科学省



丹波市教育方針

国の方向を受けまして、丹波市では、令和4年度以下のような目標を設定しました。「一人ひとりが未来の創り手」となるように学びの充実、生徒指導の充実、地域社会との連携を重視しています。国の示す3つのカテゴリーに色を付けますと下図のようになります。

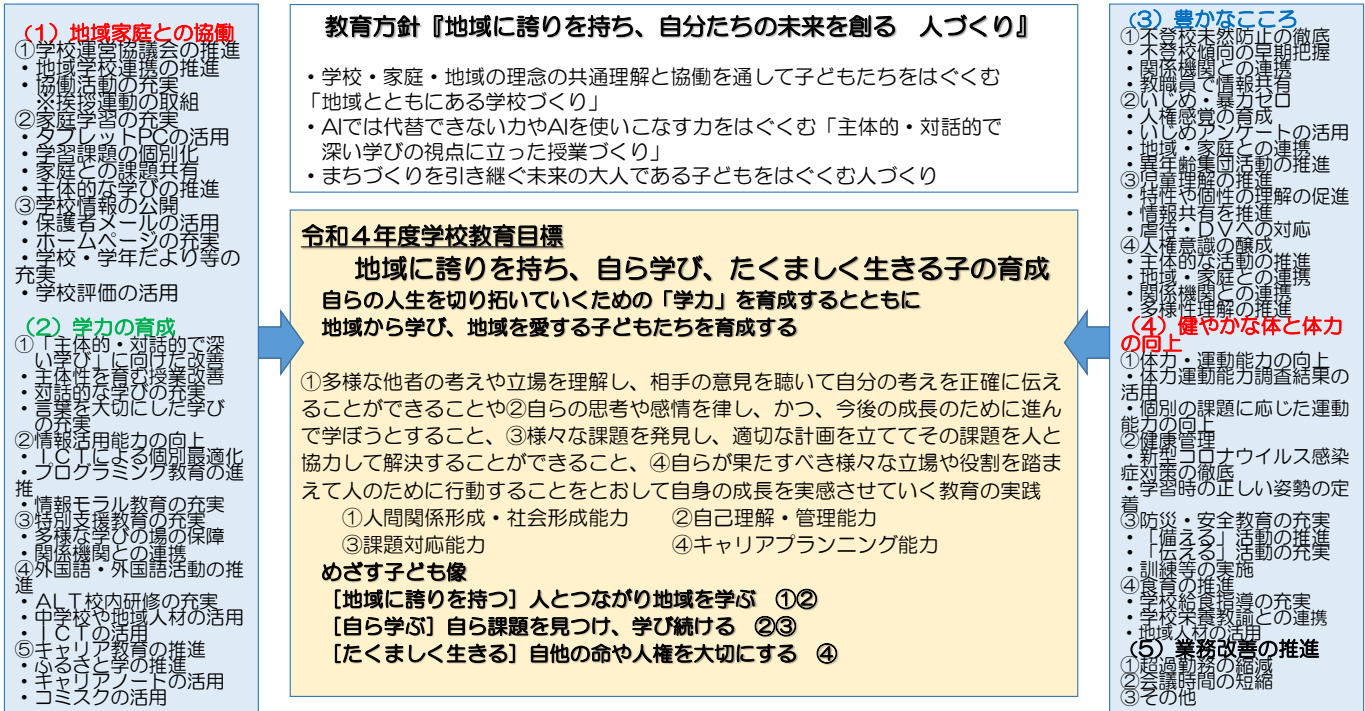


丹波市立黒井小学校学校経営方針

丹波市の8つの施策を本校の教育課題とあわせて、今年1年間取り組むことを細かく設定しました。先にも述べました3つのカテゴリーをここでも3色で示しています。

令和4年度の取組

丹波市立黒井小学校



見える学力と見えない学力

学力を考えると、「非認知スキル」という言葉がたびたび使われることがあります。テストの得点等では表せない見えない学力のことです。

- ㊟ひとの考えをよく聞き、自分の考えを発表できる。…人間関係形成力
- ㊠初めてのことや苦手な事にすすんで挑戦できる。…自己管理能力
- ㊡自主学習を続ける。授業に最後まで集中して取り組める。…課題対応能力
- ㊢当番活動や係活動、掃除などみんなのために仕事ができる。…社会性・公共心

これは、今、大切にされている「キャリア教育」の基礎的・汎用的能力とも通じています。また、「子どもに社会に出るまでに身につけさせたいと考えること」(第1回 幼児期から小学1年生の家庭教育調査報告書)においても、人との関係づくり(78.1%)…㊟と関連、タフな精神力(60.0%)…㊡と関連、将来進みたい領域に必要な知識(54.1%)・幅広い知識や教養(49.3%)…㊠と関連、探求心や何かに没頭する経験(33.6%)…㊢と関連など、基本的な見えない学力(非認知能力)が「基礎的・汎用的能力」と言われています。

学力の下支えといわれるこのことを黒井小学校子どもたちに身につけさせたいと考えています。